

平成30年度

# 主要な施策に関する説明書

( 一 般 会 計 )

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

(公共下水道事業特別会計)

(農業集落排水事業特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により平成30年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

平成30年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計の歳出決算額は、総額で約179億2千万円、前年度に比べ約5.4%、金額にして約10億2千7百万円の減となっています。

その主な要因は、防災行政無線デジタル化整備工事及び小中学校普通教室エアコン設置工事等の大規模な事業が完了したことや国民健康保険における財政運営の都道府県化という大きな制度改正が行われたことによるものですが、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費は、引き続き増加傾向にあり、なかでも子育て支援関連経費が高い伸びを示しています。

一方、厳しい財政状況が続く中、少子高齢化による人口減少社会にあっても、これまでの定住人口の増加に向けた区画整理事業等の都市基盤整備の成果により、昨年度に引き続き高い水準で町税収入を確保することができ、町の魅力を向上させ交流人口・定住人口の増加に向けた都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、少子高齢化の克服による持続可能な成長経路の実現を目標に掲げる「経済財政運営と改革の基本方針2018」を定め、「人づくり革命」・「生産性革命」・「働き方改革」の実現に向けた新たな施策を展開すると共に、地方創生の更なる深化を推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、平成30年度は、第4次宮代町総合計画後期実行計画の3年目として、重点構想の実現に向け実行計画事業に取り組んだほか、引き続き「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた各事業を推進し、地域の資源を最大限に活かしたまちづくりを進めてまいりました。

令和元年度も引き続き皆様の声を聴き、皆様の声を活かし、将来に渡ってこのまちに住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

令和元年 8月29日

宮代町長 新井康之

## 平成30年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

平成30年度は、高齢化を背景とする医療・介護関連経費が上昇したほか、区画整理地内における若年層増加の影響等により子育て関連経費が高い伸びを示し、引き続き社会保障関連経費の増加が著しい状況下での財政運営となりました。

歳入では、町税全体の滞納額の減少により滞納繰越分収納額が減額となったものの、現年度課税分は一部法人の法人税割が大きく増額したこと等に伴い前年度より増額となり、昨年度に引き続き高い水準で町税収入を確保することができました。また、各種交付金においても、地方消費税交付金が配分基準の見直しや景気の影響により増額し、全体でも増額となりました。さらに、地方交付税は、保育需要の拡大及び高齢者人口の増加等による普通交付税基準財政需要額の拡大等に伴い増額し、一般財源総額も前年度に比べ増額しました。

歳出では、義務的経費は職員数の増加及び給与改定等により人件費が増額となったほか、公債費も過年度分の臨時財政対策債の元金償還開始等により増額しました。投資的経費は、引き続き都市計画道路整備事業や東武動物公園駅東口周辺整備事業等の都市基盤整備に取り組みましたが、防災行政無線デジタル化整備工事や小中学校普通教室等エアコン設置工事等の完了により大幅な減額となりました。一方、地方創生関連では、引き続き地方創生推進交付金を活用した集会所全面展開によるまちづくり推進事業を実施し、歳出全体では前年度に比べ約6億328万円の減額となり、総額で97億5,667万円となっています。

このような中、平成30年度は第4次宮代町総合計画後期実行計画の3年目として、5つの基本構想の実現に向け、実行計画事業に重点を置いた予算執行に務めました。

「構想1 人、活動、地域をつなげる」では、地域敬老会や地域交流サロンなど地域の人同士が支えあう活動を支援し、一人ひとりの「顔」が見え、「つながり」を実感できる地域社会づくりを行いました。また、自主防災組織が行う防災訓練や研修、防災資機材の整備、防災士の資格取得に対する支援を行い、町民の皆様の安心安全を確保する取り組みを行いました。

「構想2 交流人口を増やす」では、新しい村を舞台にグリーンツーリズム事業を実施し「農」あるまちづくりを町内外へPRするとともに、地域の様々な資源を活用することで町の新たな魅力を創造する宮代つながりイベント和e輪eを実施し、宮代ファン（交流人口）の増加を図りました。

「構想3 定住人口を増やす」では、定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」をスマートフォン向けにリニューアルすることで、より多くの方が手軽に宮代町の情報を取得することができるようにし、情報発信力を強化しました。

都市計画事業においては、引き続き道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線整備及び東武動物公園駅東口駅前広場整備等を実施しました。

「構想4 産業を結び、活かし、広げる」では、農業の6次産業化を推進するため、宮代産農産物を活用した販促イベント「世界のすうぷ屋さん」を実施し、6次商品のPRを行うとともに、伝統食掘り起し調査の成果と紫野菜を使った料理のレシピ等をまとめた「宮代ふるさとレシピ10品」を刊行し食育の推進も図りました。

「構想5 公共施設の機能と役割の再編」では、公共施設マネジメント計画に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について検討を行いました。

令和元年度も、引き続き「第4次宮代町総合計画 後期実行計画」及び「宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に進めてまいります。

## 平成30年度 一般会計歳入歳出決算状況

### 歳入の状況

款 名	30年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,764,523	36.4	111	△ 3,774
2 地 方 譲 与 税	86,244	0.8	3	748
3 利 子 割 交 付 金	6,087	0.1	0	17
4 配 当 割 交 付 金	16,921	0.2	0	△ 3,936
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	15,569	0.1	0	△ 7,217
6 地 方 消 費 税 交 付 金	523,500	5.1	15	57,462
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	36,677	0.4	1	1,236
8 地 方 特 例 交 付 金	32,516	0.3	1	4,816
9 地 方 交 付 税	2,070,630	20.0	61	74,984
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,931	0.0	0	△ 244
11 分 担 金 及 び 負 担 金	148,799	1.4	4	△ 78,162
12 使 用 料 及 び 手 数 料	70,440	0.7	2	1,008
13 国 庫 支 出 金	953,454	9.2	28	△ 92,845
14 県 支 出 金	613,943	5.9	18	13,583
15 財 産 収 入	22,903	0.2	1	14,445
16 寄 附 金	68,435	0.7	2	△ 30,227
17 繰 入 金	576,151	5.6	17	13,593
18 繰 越 金	514,499	5.0	15	△ 193,007
19 諸 収 入	217,855	2.1	6	△ 1,752
20 町 債	601,452	5.8	18	△ 300,643
歳 入 合 計	10,344,529	100.0	303	△ 529,915

平成31年3月31日現在人口  
33,971人

(単位 千円)

29年度		28年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,768,297	34.6	3,702,126	滞納額の減に伴う滞納繰越分収納額の減
85,496	0.8	85,905	交付原資（国税）の増
6,070	0.1	3,769	交付原資（県税）の増
20,857	0.2	15,705	交付原資（県税）の減
22,786	0.2	9,572	交付原資（県税）の減
466,038	4.3	438,985	配分基準の見直しに伴う増
35,441	0.3	27,060	交付原資（県税）の増
27,700	0.3	23,481	住宅ローン減税対象者の増に伴う交付原資の増
1,995,646	18.4	1,989,006	保育需要の拡大及び高齢者数の増等に伴う普通交付税の増 その他特殊財政事情分交付額の増に伴う特別交付税の増
4,175	0.0	4,480	交付原資の減
226,961	2.1	130,045	埼玉北地区管内広域事業分担金の減
69,432	0.6	68,429	道路占有料の増等に伴う使用料の増
1,046,299	9.6	940,652	臨時福祉給付金事業等の国施策の影響に伴う減
600,360	5.5	566,887	社会保障関連経費の増等に伴う県負担金の増
8,458	0.1	10,672	普通財産売却収入の増
98,662	0.9	113,468	ふるさと納税の減
562,558	5.2	515,290	公共施設整備基金繰入金及びまちづくり基金繰入金の増
707,506	6.5	701,906	前年度決算剰余金の減
219,607	2.0	248,752	諸税延滞金の減
902,095	8.3	551,732	防災行政無線デジタル化工事及び小中学校エアコン設置工 事の完了に伴う減
10,874,444	100.0	10,147,922	

## 歳出の状況

款名	30年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 議会費	98,197	1.0	3	△ 129
2 総務費	1,742,476	17.9	51	△ 238,432
3 民生費	3,587,201	36.8	106	△ 51,713
4 衛生費	796,975	8.2	23	671
5 労働費	3,050	0.0	0	0
6 農林水産業費	250,486	2.6	7	15,215
7 商工費	56,606	0.6	2	△ 6,777
8 土木費	929,414	9.5	27	△ 205,550
9 消防費	503,364	5.1	15	△ 42,832
10 教育費	986,321	10.1	29	△ 107,294
11 公債費	802,512	8.2	24	33,578
12 諸支出金	68	0.0	0	△ 13
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	9,756,670	100.0	287	△ 603,276

平成31年3月31日現在人口  
33,971人

(単位 千円)

29年度		28年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
98,326	0.9	98,110	議員欠員による議員報酬等の減
1,980,908	19.1	1,711,835	防災行政無線デジタル化工事の完了等に伴う減
3,638,914	35.1	3,405,042	埼玉葛北地区管内広域事業の完了に伴う減 介護給付金・訓練給付金の増
796,304	7.7	730,481	医療介護環境調査実施等に伴う増
3,050	0.0	5,139	
235,271	2.3	240,075	笠原沼落川床改修の実施等に伴う増
63,383	0.6	63,984	職員人件費等の減
1,134,964	11.0	929,240	都市計画事業の進捗による減 県街路事業負担金の減
546,196	5.3	518,157	消防団（第6分団）詰所建替工事の完了等に伴う減
1,093,615	10.6	983,418	小中学校エアコン設置工事の完了等に伴う減
768,934	7.4	754,764	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始等に伴う増
81	0.0	171	
0	0.0	0	
10,359,946	100.0	9,440,416	

平成30年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	30年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	
1 人 件 費	1,607,069	16.5	15,443
う ち 職 員 給	1,085,308	11.1	17,526
2 物 件 費	1,466,780	15.0	△ 126,843
3 維 持 補 修 費	56,542	0.6	△ 2,623
4 扶 助 費	1,788,997	18.3	3,281
5 補 助 費 等	1,319,346	13.5	19,006
一部事務組合に対するもの	951,283	9.8	△ 6,488
そ の 他	368,063	3.8	25,494
6 普 通 建 設 事 業 費	537,505	5.5	△ 418,653
補 助 事 業 費	117,944	1.2	△ 181,617
単 独 事 業 費	415,775	4.3	△ 189,223
県 営 事 業 負 担 金	3,786	0.0	△ 47,813
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	802,512	8.2	33,578
8 積 立 金	387,190	4.0	△ 142,986
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	6,000	0.1	0
11 繰 出 金	1,784,729	18.3	16,521
合 計	9,756,670	100.0	△ 603,276



(単位 千円)

29年度		28年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
1,591,626	15.4	1,534,887	職員数の増 給与改定に伴う増
1,067,782	10.3	1,037,854	職員数の増 給与改定に伴う増
1,593,623	15.4	1,422,302	埼玉北部地区管内広域事業委託料の減 東武動物公園駅東口物件調査完了に伴う減
59,165	0.6	46,755	
1,785,716	17.2	1,685,434	介護給付・訓練等給付費の増 保育所入所児童数の増
1,300,340	12.5	1,259,467	
957,771	9.2	933,867	埼玉東部消防組合負担金の減
342,569	3.3	325,600	固定資産税過誤納金還付金の増
956,158	9.2	441,243	
299,561	2.9	100,092	小中学校エアコン設置工事の完了に伴う減
604,998	5.8	310,597	防災行政無線デジタル化工事の完了に伴う減
51,599	0.5	30,554	県道春日部久喜線整備（和戸地内）にかかる街路事業負担金の減
0	0.0	0	
0	0.0	0	
768,934	7.4	754,764	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始等に伴う増
530,176	5.1	479,305	財政調整基金積立金及びまちづくり基金積立金の減
0	0.0	0	
6,000	0.1	8,000	
1,768,208	17.1	1,808,259	介護保険特別会計繰出金の増 後期高齢者医療特別会計繰出金の増
10,359,946	100.0	9,440,416	

## 地 方 債 現 在

区 分	平成 29 年度 末 現 在 高 A	平成 30 年 度 発 行 額 B
1 普 通 債	2,994,407	150,300
(1) 総 務 債	382,348	85,000
(2) 民 生 債	701,878	
(3) 衛 生 債	487,718	
(4) 土 木 債	1,168,644	36,500
(5) 消 防 債	26,100	
(6) 教 育 債	227,719	28,800
2 そ の 他	5,894,351	451,152
(1) 減 税 補 て ん 債	147,724	
(2) 臨 時 財 政 対 策 債	5,746,627	451,152
合 計	8,888,758	601,452

## 地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借 入 先	利 率 別	平成 29 年度 末 現 在 高 A	平成 30 年 度 発 行 額 B	平成 30 年 度 元 金 償 還 額 C	平成 30 年 度 末 現 在 高 D(A+B-C)
1 財 務 省		4,198,428	221,834	396,357	4,023,905
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構		319,229		24,804	294,425
3 地方公共団体金融機構		3,122,928	246,018	165,422	3,203,524
4 市中銀行等		1,132,587	50,900	122,297	1,061,190
5 共済組合等		48,436		8,981	39,455
6 埼玉県		67,150	82,700	13,850	136,000
合 計		8,888,758	601,452	731,711	8,758,499

## 高 の 状 況

(単位 千円)

平成30年度 元金償還額 C	平成30年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
288,723	2,855,984	1,369,289	1,486,695
32,041	435,307		435,307
68,473	633,405	393,983	239,422
34,594	453,124	131,640	321,484
116,536	1,088,608	843,666	244,942
1,268	24,832		24,832
35,811	220,708		220,708
442,988	5,902,515	2,949,041	2,953,474
41,666	106,058	106,058	
401,322	5,796,457	2,842,983	2,953,474
731,711	8,758,499	4,318,330	4,440,169

## 利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

平成30年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以 下	2.0% 以 下	2.5% 以 下	3.0% 以 下	3.5% 以 下	4.0% 以 下	4.5% 以 下	5.0% 以 下	5.0% 超
3,711,199	107,568	188,928	5,733	5,255			5,222	
107,005		187,420						
2,535,473	644,713	6,280	7,076	6,170			3,812	
792,122	269,068							
39,455								
136,000								
7,321,254	1,021,349	382,628	12,809	11,425			9,034	

## 平成30年度 決算状況総括表

### 1 決算収支の状況

(単位 千円)

	30年度	29年度	28年度
歳入総額 A	10,344,529	10,874,444	10,147,922
歳出総額 B	9,756,670	10,359,946	9,440,416
歳入歳出差引額 (A - B) C	587,859	514,498	707,506
翌年度へ繰越すべき財源 D	90,640	84,972	87,039
実質収支 (C - D) E	497,219	429,526	620,467
単年度収支 F	67,693	△ 190,941	118,681
財政調整基金積立金額 G	215,125	310,821	251,702
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	130,909	172,620	265,524
実質単年度収支 (F + G + H - I)	151,909	△ 52,740	104,859

### 2 基金の現在高

(単位 千円)

	30年度	29年度	28年度
財政調整基金	1,156,614	1,072,398	934,197
(主な増減理由) 決算剰余金の積み立てによる増			
減債基金	3,514	3,513	3,512
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
公共施設整備基金	545,807	479,677	385,176
(主な増減理由) 新たなごみ処理施設建設準備金の財源としての積み立てによる増			
土地区画整理事業推進基金	0	0	211
(主な増減理由)			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	4,991	4,402	11,422
(主な増減理由) 医療機器リース料の財源としての取り崩しによる減			
宮代まちづくり基金	87,929	144,218	121,482
(主な増減理由) ふるさと納税の減額による減			
土地開発基金	381,586	381,519	381,438
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
育英基金	25,321	31,341	36,784
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
合 計	2,205,762	2,117,068	1,874,222

※土地区画整理事業推進基金は道仏地区土地区画整理事業の完了に伴い、平成29年度末に廃止しております。

### 3 財政指標

	30年度	29年度	28年度
実質公債費比率	6.5%	6.6%	6.7%
将来負担比率	14.5%	14.8%	16.8%
財政力指数	0.636	0.633	0.629
経常収支比率	93.7%	93.6%	92.7%
実質収支比率	7.5%	6.6%	9.6%
標準財政規模	6,667,171千円	6,524,271千円	6,461,048千円

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は15ページを参照ください)

### 4 人口

(単位 人)

	30年度	29年度	28年度
住民基本台帳	33,971	33,991	33,840

### 5 国勢調査

(単位 人)

	27年国勢調査	22年国勢調査	17年国勢調査
人口	33,705	33,641	34,620
第1次就業人口	315	353	480
第2次就業人口	3,551	3,499	3,802
第3次就業人口	10,861	11,221	11,902
(分類不能)	854	606	302

### 6 職員数等の状況

	30年度	29年度	28年度
(一般職員) 職員数	172人	171人	168人
平均年齢	45.06歳	45.10歳	45.11歳
一人当たりの給料月額	327,941円	330,638円	332,409円
ラスパイレス指数	94.6	94.4	94.9

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体（市町村など）の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

## 人権尊重平和事業

[人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、中学校管理事業]

人権推進室 内線 210  
 学校教育担当 内線 423  
 生涯学習室 内線 431

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,468,000	3,091,511	26,000	0	0	0	3,065,511

### ◎ 平成30年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業として朗読劇を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

### <実施内容>

#### ■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、様々なかたちでの人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①人権教育推進協議会研修会 6月25日 コミュニティセンター進修館小ホール
- ②教職員人権教育研修会 8月20日 コミュニティセンター進修館小ホール
- ③人権問題合同研修会

2月5日 コミュニティセンター進修館小ホール  
 講演テーマ：人権の現状と課題  
 講師：水島輝彦氏  
 人権啓発DVD「コール&レスポンス」視聴



#### ■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を宮代町出前講座「まちしるべ」のメニューとしました。

#### ■男女共同参画セミナーの実施

1月14日、コミュニティセンター進修館大ホールにおいて、PTA連絡協議会と共催で開催しました。

講演テーマ：We are シンセキ in miyashiro  
 ～地域の子どもたちにできること～  
 講師：山本シュウ氏(ラジオDJ・レモンさん)

宮代町PTA連絡協議会主催・宮代町男女共同参画セミナー  
**We are シンセキ in miyashiro**  
 ～地域の子どもたちに出来る事～  
 そのほかあさ〜ん 毎日笑ってますかあ？  
 ...何か事情があらひのよう？  
 「大人も子どもみんなハッピーに」  
 県の国史公園おたけ公園(公園) 公園は「おたけ公園」シンセキ  
 1964年生まれ 大塚的門出身の元プロ野球選手 ラジオDJ  
 大きな声で話しかけてくれて「レモンさん」というキャラクターで学校の  
 行事の司会進行やイベント、その他様々な活動を行っています。  
 音楽入りのフリースタイルな生き方は子ども達の憧れのオナツ、  
 シンセキさん、おたけ公園の活動がきっかけで自分自身で活動出来るよう  
 ことレモンさん、子育ての心構え、地域のクラブや地域のクラブ  
 活動や更なる活動、活動が楽しくなっていきます！  
 命の尊厳、生きる力の源泉は心を知り、地域の社会に貢献する  
 皆さん、是非とも是非にお集まりいただきハッピーになってください！  
 「子どもが笑顔でハッピーになってきたときに、おたけ公園で  
 おたけ公園で活動していきなす活動、おたけ公園で活動していきなす活動です。  
 忙しいという方は、心をくすぐるような心が伝わるような  
 と書かぬ、子育ては、活動品なので、後では戻ります。おたけ公園で、  
 心が伝わるように。」  
**日時** 平成31年1月14日(月・祝)  
**14時～16時(受付13時30分～)**  
**会場** 進修館大ホール  
 ◎講師 山本シュウ氏(レモンさん)  
 ◎費用 無料 ※一応服装費(1歳以上上着半ズボン、1月6日(祝)までに総務課人権推進室まで  
 お申込ください  
 ◎問合せ 宮代町総務課人権推進室 電話34-1111(内線210)  
 宮代町PTA連絡協議会事務局(宮代小学校) 電話34-8480  
 ◎共催 宮代町/宮代町PTA連絡協議会/宮代町男女共同参画社会推進協議会  
 ◎後援 宮代町教育委員会

#### ■男女共同参画情報誌「ふらふら」の発行

男女共同参画社会の実現のため、年1回男女共同参画社会推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。





30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
169,887,000	125,935,820	0	0	82,700,000	33,076,147	10,159,673

◎ 平成30年度の事業実績(成果)

「公共施設マネジメント計画」に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について検討を行いました。

＜実施内容＞

■小中学校の適正配置 8,533,684円

小中学校の再配置計画の検証に向けて、中学校の劣化診断を実施しました。

また、教育だより「みやしろ」を通して、町立小中学校を取り巻く将来課題についてお知らせしました。

■「公共施設における借地等の具体的取得計画」に基づく用地の取得 117,402,136円

借地の解消については、平成29年度に定めた「公共施設における借地等の具体的取得計画」に基づいて、西原自然の森の用地取得を行いました。

★ 後期実行計画の目標とその工程

近い将来に訪れる更新時期を前にして、人口減少、少子高齢化が進んでおり規模の面からも、財政負担の面からも現状と同様のフレームでの施設更新は適切ではありません。次代のニーズ、行政需要に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図ることで持続可能な行政運営を目指します。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	R1	R2
公共施設等総合管理計画の策定	企画財政課	▶				
小中学校適正配置・公共施設再編	教育推進課 関係課	▶	▶	▶	▶	▶
借地の解消	企画財政課	▶	▶	▶	▶	▶

後期実行計画の成果目標(令和2年度)

公共施設等総合管理計画の策定





# 教 育 推 進 課

## ■ 本年度の成果

町民の皆様に、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送っていただけるよう、また、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人材の育成が図られるよう、そして、児童生徒のさらなる学力の向上が図られるよう「宮代町教育振興基本計画(H28-32)」に掲げる基本理念「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を目指して、各種事業に取り組み、次のような成果をあげることができました。

### 1. 教育総務・学校教育

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人ひとりを大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。また、体力面でも「埼玉県新体力テスト」の結果から本町の児童生徒は高い水準を保っており、須賀中学校が7年連続で埼玉県体力向上優良校となりました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、16年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、教師による合同研修会や授業研究会、中学校生徒による小学校での体育支援や学習支援等も行われるようになり、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育てるとともに、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においても、兄弟関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級(知的、自閉・情緒)を、また難聴・言語障害通級指導教室を1教室設置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、学校評議員会の充実を図り、その提言や意見を活用し地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、登校状況が改善されたケースも見られました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、安全対策としてブロック塀の総点検を行い、必要な箇所については、改修を行いました。中学校施設については、劣化診断を行い、今後の施設の適切な維持管理を行うための状況を把握しました。

学校給食では、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進

しました。平成30年度には米類23.3トン、野菜等10.9トン、合せて32品目、34.2トンを使用しました。

## 2. 生涯学習

生涯学習のまちづくりを進めるため、みやしろ大学、町民文化祭、成人式をはじめとした各種事業を開催しました。

みやしろ大学では、運営委員の協力のもと、オリンピック・パラリンピック、消費生活、音楽など、多彩なテーマで企画された計8講座に、延べ1,259人が参加され、高齢者の生きがいや健康づくり、仲間づくりのきっかけに効果をあげることができました。

宮代の文化の祭典である町民文化祭においては、40回目を迎え、舞台発表や作品展示などに延べ3,184人が参加され、日頃の活動成果を発表されたほか、著名な音楽家を招いた文化公演会では399人の来場者が一緒になっての歌声に包まれた楽しい音楽会となりました。

成人式においては、新成人による実行委員が企画から準備、運営まで携わり、203人の二十歳の思い出を創り上げてくれました。

青少年健全育成においては、平成28年度に全面改訂を行った「新みやしろ郷土かるた」を用いたかるた大会に、過去最多となる87チーム・261人が出場し、競技を通して郷土愛と仲間との絆の大切さを学びました。

また、日本工業大学との連携により開校している「子ども大学みやしろ」には、54人の児童が入学し、普段の学校生活では得ることができない学びと体験の機会を提供し、子供たちの学びの意欲の高揚等を促すことができました。

## 3. 町立図書館

町立図書館については、指定管理者の(株)図書館流通センターにより、利用環境の改善などのサービス向上に努めるとともに、町内の小中学校図書室への支援活動にも引き続き積極的に取り組みました。

自主事業においては、映画会、夏休み科学あそび教室、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを活用したコンサートの定期開催など、子供から高齢者向けの数多くの事業を実施しました。

さらに、読書感想文教室や子ども司書講座、東武動物公園の協力を得ての調べ学習、中学生を対象としたビブリオバトルなど、図書資料を活用した事業を通じて、児童・生徒の読書活動の推進に大きく寄与しました。

また、多くの町民ボランティアの協力のもと、乳幼児を対象とした「すいようえほんの会」や「ブックスタート」など、小さなお子さん連れの保護者の方にとっても身近な図書館となるように努めました。

#### 4. スポーツ振興

町民の健康づくりや親睦と交流・競技力の向上などを目的に、体育協会、レクリエーション協会と連携協力し、町民体育祭や綱引大会、町民スポーツ大会等の様々な事業に取り組みました。

また、指定管理第3期目を迎えた総合運動公園では、指定管理者ミズノグループが、自主事業のさらなる拡大を図り、水泳においてはオリンピックメダリストによる教室の開催など31,260人、テニススクールの2つのクラスに6,249人のほか、膝・腰痛体操教室やヨガなどの健康に関する教室、新たに高齢者の体力維持と健康増進を図る教室を開催し、スポーツだけでなく、健康の維持・増進の面での各種の事業に多くの方々の参加がありました。

体育施設の利用については、総合運動公園では年間の利用者総数が228,070人となり、5年連続で20万人を超えるとともに、過去最高を更新しました。また、宮東テニスコートなどのグラウンドでは延べ57,500人、学校の体育館や校庭での学校開放においては42,164人の利用があり、多くの方々のスポーツ、健康づくりの場として活用をいただくことができました。

また、スポーツ推進委員が中心となって企画運営を実施した小学生のためのスポーツ教室「あそびと運動（トライ及びチャレンジ）」には、延べ366人が参加し、スポーツ少年団への委託事業として実施した「少年少女スポーツフェスティバル」と併せて、小学生のスポーツを通じた交流の促進を図ることができました。

#### 5. 文化財保護

文化財保護事業では、ふるさと納税制度を活用し、弁天社に文化財案内板を設置することにより、地域の歴史、由来を知っていただくことができました。

また、個人住宅の建設に伴い、遺跡に近接する地域での試掘調査を実施したほか、平成29年度に実施した道仏遺跡の発掘調査における遺物の整理・確認作業を進めるとともに、企画展において展示を行い、調査成果を周知することができました。

郷土資料館においては、町内の歴史や文化の一端を知っていただくために特別展や企画展を開催しました。特別展においては、幕末から明治維新を経て、近代国家へと歩みだした頃の宮代町の地域社会や暮らしを紹介した「明治時代のみやしろ」を開催するとともに、特別展を記念して時代考証学者による講演会を開催しました。また、企画展では「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ・昭和編～」、「収蔵品で語る宮代の民俗3 てぬぐいのある風景」、「道仏遺跡発掘出土品展」等を開催し、多くの方々に来館していただくことができました。

夏休みを中心とした各種の講座においては、「縄文土器づくり教室」、「かやぶき民家で聞く昔話」、「御朱印帳づくり体験講座」などを通じて、子どもをはじめ多くの町民の皆様に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。また、展示室の空調設備の更新や敷地内にある町指定文化財の旧加藤家住宅の茅葺屋根修繕を行うなど、施設の維持補修にも努めました。

## ■ 平成30年度後期実行計画

人権尊重平和事業	33
公共施設再編第2期計画	55

## ■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	167
不登校対策事業	168
小中一貫教育推進事業	168
町民みんなが先生推進事業	170
英語指導助手活用推進事業	170
小学校施設管理事業	171
小学校要準特別支援教育就学援助事業	171
小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	172
小学校環境教育推進事業	172
中学校施設管理事業	173
中学校要準特別支援教育就学援助事業	173
中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	174
学校給食運営管理事業	174
社会教育活動事業	175
人権教育推進事業	176
青少年健全育成事業	177
公民館管理運営事業	178
図書館管理運営事業	180
総合運動公園管理事業	183
社会体育施設維持管理事業	185
生涯スポーツ振興事業	186
文化財保護事業	188
埋蔵文化財発掘調査事業	189
資料館管理運営事業	190

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
512,000	336,010	0	0	0	0	336,010

### 〔主な実施内容〕

#### ■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

#### ■交通安全対策啓発用資料・防犯対策啓発資料の作成

小学校版として交通安全対策啓発用ポスターと作文を、中学校版として防犯対策啓発用ポスターと作文をつくり、そのポスターの中に標語も掲載しました。作成した児童生徒の創意工夫あふれるポスターや作文は、リーフレット「気をつけて」にまとめ、児童生徒全員に配布するとともに、ポスターは各学校及び進修館、ぐるる、公民館、図書館等の公共施設に掲示し、その啓発を図りました。

#### ■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在119軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後時において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

#### ■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校267人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

### 〔成 果〕

登下校指導及び交通安全対策啓発資料等の活用もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まっています。

## 不登校対策事業

[学校教育担当]

決算書 P150

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,153,000	8,012,984	0	3,420,000	0	0	4,592,984

### [主な実施内容]

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1人ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、委員会事務局内に教育相談員を引続き配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

### [成 果]

平成30年度の不登校の児童生徒は22人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員(さわやか相談員)、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から派遣されたスクールカウンセラー2人の協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.20%、中学校においては2.69%です。

## 小中一貫教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P150

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,360,000	2,338,160	0	0	0	0	2,338,160

### [主な実施内容]

#### ■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

宮代町立小中学校一貫教育推進委員会を2回実施し、その話し合いの結果を生かし、宮代町の小中一貫教育を推進しました。

須賀小・中学校では、「生きる力を育む小中一貫教育」を研修課題として、平成30年度は基礎学力の向上を中心として小・中共通した目標や取組を設定しました。校長の交換講話、相互の授業参観、児童生徒の交流活動等を実施し、その成果を示すことができました。

また、東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、小中学校9年間の学びの連続性を重視した学習指導を実施し、特に4年間の英語教育強化地域拠点事業での取組を生かし、小中で連携した英語教育を推進しました。また、小学校での出前授業や児童生徒の交流活動等を実施し、小・中の教職員がお互いの学校の教育活動等を理解し合うとともに、指導法等について話し合い、小中学校で目指す児童生徒像の具現化に向け、今後の学校の教育活動に生かすことが

できました。

さらに、百間小学校・前原中学校では、目指す児童生徒の学習や生活の姿を小・中一貫教育推進計画（Mプラン）としてまとめ、「私の志ノート」の取組を通して9カ年での夢に向かって全力で取り組む児童・生徒の育成を推進しました。さらに、「家庭学習の手引き」の改善、中学生が小学生に学習ボランティアとしてサマースクールで支援を行うなどの児童生徒間交流、小中学校長の交換講話等を実施し、その成果を示すことができました。

### ■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動の一層の推進を図りました。また、小学校では、担任が外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、英語活動の充実に向け取り組みました。外国語活動・英語教育推進委員会主催で夏期研修会を開催しました。小学校教員、中学校英語担当教員が参加し、大学教授の講演を伺い、その後、指導実践研修を行いました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小学生と中学生が一堂に会して小中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

### ■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。また、宮代道徳の日については、各校の取り組みのまとめを庁舎内に展示しました。これらの取組は、道徳授業公開、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

## [成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。特に、教職員間の交流では、小・中学校の教員がお互いの学校の教育活動を理解し合うとともに、指導方法等について話し合い、それぞれの学校の教育活動に生かすことができました。また、児童生徒間の交流では、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。平成30年度から2年間、文部科学省の指定を受けて実施している「教育課程特例校」において、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の英語科授業を行いました。百間中学校区の研究の成果を他の中学校区にも広め、指導の充実を図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。



**町民みんなが先生推進事業**

〔学校教育担当〕

決算書 P150

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
883,000	814,992	0	417,000	0	0	397,992

**【主な実施内容】**

「町民みんなが先生」制度により、部活動で13人の方々が中学生の指導を行いました。

**【成 果】**

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

**英語指導助手活用推進事業**

〔学校教育担当〕

決算書 P152

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,317,000	15,200,000	0	0	0	1,000,000	14,200,000

**【主な実施内容】**

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。また、夏季休業中にも英語スピーチ大会に向けた指導をしました。

**【成 果】**

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童生徒が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小・中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

## 小学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P156

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
159,813,000	102,486,480	0	0	19,400,000	1,998,226	81,088,254

※平成30年度予算のうち、55,080,000円を令和元年度に繰り越しています。

### [主な実施内容]

#### ■町内各小学校の施設改修・修繕

##### 主なもの

内 容	工 期	金額(円)
宮代町立東小学校工作物撤去工事	H30.5.1~H30.9.30	23,220,000
宮代町立百間小学校第二校舎屋上防水改修工事	H30.7.11~H30.9.14	25,920,000

### [成 果]

町内小学校の適正な施設管理のため、学校の環境整備を行いました。特に宮代町立東小学校工作物撤去工事や宮代町立百間小学校第二校舎屋上防水改修工事の実施により、学校施設の適切な維持修繕を行い、学習環境の改善を図ることができました。

## 小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P158

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,048,000	10,421,019	155,000	129,000	0	0	10,137,019

### [主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

### [成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は132人(8,197,950円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は14人(347,669円)となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給を昨年度から開始しました。事前支給者は41人(1,875,400円)となりました。

## 小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P158

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,765,000	16,942,728	0	0	0	10,000,000	6,942,728

### 【主な実施内容】

#### ■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を1校あたり2人、全小学校で8人配置し、学習内容や児童の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

### 【成 果】

非常勤講師の配置により、担任と協力しながらチームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細やかな指導を充実させることができました。特に算数の指導において、各学校とも担任と非常勤講師が連携を図り、児童の伸びや課題を明確にし、児童一人ひとりの実態に応じた指導を行うことで、基礎・基本の定着を図ることができました。

## 小学校環境教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P160

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,000	3,628	0	0	0	0	3,628

### 【主な実施内容】

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議を実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

### 【成 果】

平成30年1月29日に進修館で開催した「宮代町キッズエコサミット」には、小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で取り組んだ環境への取組を紹介しました。今年度も、埼玉県環境部の方を講師に招き、「食品ロス」についてパネルディスカッション方式で御講演いただきました。無駄を減らし環境を大切にしようとする意識の高まりを、参加した児童・生徒の意見や感想から感じることができました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」を開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を、恒例の7月第一土曜日に実施しました。町内全小・中学生が取り組み、「家族が1つの部屋に集まって電気節約」「夏野菜で体を冷やす作戦」など子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

また、1月は、「宮代冬の江戸の日」として、町内全小・中学生が「重ね着で体を温める」「太陽の光を有効活用」などの取り組みが見られました。

**中学校施設管理事業**

[教育総務担当]

決算書 P164

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
134,256,000	46,139,612	0	0	0	1,499,747	44,639,865

※平成30年度予算のうち、81,000,000円を令和元年度に繰り越しています。

**[主な実施内容]**

■町内各中学校の施設改修・修繕

主なもの

内 容	工 期	金額(円)
中学校劣化診断業務委託	H30.7.5~H31.2.28	8,391,600

**[成 果]**

町内中学校の適正な施設管理のため、学校の環境整備を行いました。中学校3校の劣化診断を実施し、校舎、電気設備、機械設備等の劣化状況について調査しました。また、学校施設の適切な維持修繕を行い、学習環境の改善を図ることができました。

**中学校要準特別支援教育就学援助事業**

[学校教育担当]

決算書 P166

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,474,000	10,081,569	215,000	0	0	0	9,866,569

**[主な実施内容]**

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

**[成 果]**

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は103人(9,749,293円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は8人(332,276円)となりました。

## 中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P166

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
19,305,000	18,796,463	0	0	0	10,000,000	8,796,463

### 〔主な実施内容〕

#### ■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を、1校あたり2人、全中学校で6人配置し、学習内容や生徒の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

### 〔成 果〕

非常勤講師の配置により、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、学習指導を充実させることができました。

その教科が苦手な生徒や理解に時間がかかる生徒等、個別に支援が必要な生徒への指導を充実させることができました。特に数学に関しては、少人数指導や習熟度に応じた指導等を充実させ、生徒の基礎学力の定着及び学力の向上において成果を得ることができました。

## 学校給食運営管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P180

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
307,849,000	307,648,263	0	0	0	111,323,945	

### 〔主な実施内容〕

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。

また、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

#### ■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	30年度	29年度	28年度
品 目 数	3 2 品 目	3 2 品 目	3 5 品 目
使 用 量 (米・野菜等)	米 23.3 トン 野菜等 10.9 トン	米 23.4 トン 野菜等 6.8 トン	米 22.3 トン 野菜等 8.7 トン

## [成 果]

### ・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成にもつながるよう取り組みました。

### ・アレルギー対策

食物アレルギーを持っている児童生徒に対して、除去食・代替食の提供を行いました。

### ・放射線対策

学校給食に使用する食材産地（毎月）と学校給食に使用する食材の放射性物質測定（毎週）を行い、その結果を公開しています。

## 社会教育活動事業

[生涯学習室]

決算書 P166

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,215,000	1,908,123	0	0	0	687,773	1,220,350

### [主な実施内容]

生涯学習のまちづくりの実践として各種事業を行いました。

#### ■みやしろ大学の開催

755,162円

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座、ウォーキングなど、計8回開催し、延べ1,259人が参加しました。

回	テーマ・内容(★=公開講座)	開催日	場 所	参加者数
1	埼玉でも開催！東京2020 オリンピック・パラリンピック★	4月17日(火)	進修館大ホール	208人
2	ウォーキング ～宮代町の隠れた魅力を再発見～	5月15日(火) 5月22日(火)	宮代町内	127人
3	だまされないぞ！悪徳商法！★	6月19日(火)	進修館大ホール	170人
4	人間と機械・ロボットは 共存できるのか？★	7月17日(火)	進修館大ホール	163人
5	音楽の時間 ～グリーンフルトネーズ・アワー～	9月18日(火)	進修館大ホール	180人
6	県外研修 ～牛久大仏と土浦城・予科練平和祈念館～	10月16日(火)	茨城県土浦市方面	110人
7	本多静六と大宮公園★	11月20日(火)	進修館大ホール	153人
8	げんりょう化(原料・減量)大作戦★	12月18日(火)	進修館大ホール	148人

#### ■町民文化祭の開催

910,402円

(平成30年11月2日(金)～11月5日(月))

宮代町文化協会との共催により第40回宮代町民文化祭を開催し、舞台発表や制作教室に

延べ1,430人、作品展示に延べ1,754人が参加しました。また、第40回記念として開催した文化公演会「青島広志の楽しい音楽会」には、399人が来場しました。

■成人式の開催（平成31年1月13日（日）） 242,559円

新成人による実行委員会の企画運営により式典及びアトラクションを開催し、203人の新成人が参加しました。

## [成 果]

みやしろ大学の受講生アンケートでは、84%の満足度を得ることができました。

町民文化祭は、町民の日頃の生涯学習活動の成果を発表する場となるとともに、鑑賞者が文化・芸術活動に参加するきっかけづくりの場とすることができました。また、文化公演会では、軽妙なトークを交えた楽しいコンサートにより、来場者に音楽に親しんでいただく機会を提供することができました。

成人式では、恩師からのメッセージや新成人の決意発表等が行われ、新たな門出にふさわしい式となりました。

## 人権教育推進事業

[生涯学習室] 決算書 P168

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,013,000	897,176	0	0	0	0	897,176

## [主な実施内容]

差別の解消に向けて、様々な人権問題を理解していただくために、広い世代にわたり研修、啓発活動を行いました。

■子ども人権講座の開催 40,000円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「目が見えなくなって見えたもの」を開催し、254人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集（あおぞら第24集）の発行 94,886円

小中学校の児童生徒による人権作文・標語の作品集の作成と発表会を開催し、発表会会場校の5年生・6年生138人、一般36人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成 515,088円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を行いました。

## [成 果]

子ども人権講座では、視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話していただき、子どもたちにとって生きることの示唆をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成活動は、児童生徒一人ひとりが人権問題について考える機会となりました。また、みやしろ大学の県外研修の車中において研修を行うことで、子どもから高齢者まで幅広い年代の方に人権を考える機会を提供させていただいたことで、自分の大切さ、他の人の大切さを認識することができ、人権尊重の精神を養うことができました。

## 青少年健全育成事業

[生涯学習室]

決算書 P168

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
517,000	376,772	0	0	0	63,750	313,022

## [主な実施内容]

### ■子ども大学みやしろ 30,000円

日本工業大学及び町内事業者と連携し、小学校4～6年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

講 義 名	期 日	場 所	参加者数
見えないものを見てみよう	9月17日 (月・祝)	日本工業大学 建築学科実験研究棟	53人
江戸と現代の再利用 作って飛ばそう！ 紙パック飛行機	9月24日 (月・祝)	日本工業大学 物理実験研究棟・体育館	53人
見て楽しい！食べておいしい！ 和菓子づくり体験	10月20日(土)	新しい村 村の集会所	51人
みやしろミライ	11月11日(日)	日本工業大学 生活環境デザインコース 実験研究棟	50人

### ■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会の開催 79,772円

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催しました。

大 会 名	期 日	場 所	対 象	参加者数
新みやしろ郷土かるた大会	7月1日(日)	進修館大ホール	小学校1～6年生	261人
彩の国21世紀郷土かるた宮代大会	1月20日(日)	進修館大ホール	小学校4～6年生	75人

### ■宮代町青少年相談員サマーキャンプ 168,000円

平成30年7月27日から2泊3日で、栃木県日光市湯西川「安らぎの森キャンプ場」で実施され、小学生17人が参加しました。



## [成 果]

子ども大学みやしろでは、学校では学ぶことができない特色ある授業を実施し、子供たちの知的好奇心を刺激する学びや体験、交流の機会を提供することができました。

郷土かるた大会では、競技をとおして、仲間づくりや郷土愛を育む機会を設けることができました。新みやしろ郷土かるた大会については、過去最多となる87チーム261人が参加し、彩の国21世紀郷土かるた大会については、平成31年3月に開催された埼玉県大会の団体戦の部において、宮代町代表チームが第3位の偉業を成し遂げました。

青少年相談員サマーキャンプでは、自然体験や集団活動をとおして、子供たちの「生きる力」や「協調性」を育むとともに、青少年育成活動の担い手の育成にも寄与することができました。

## 公民館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P170

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
21,957,000	12,821,215	0	0	0	2,465,300	10,355,915

※平成30年度予算のうち、8,856,000円を令和元年度に繰り越しています。

## [主な実施内容]

### ■公民館の利用状況

平成30年度は、百間・川端公民館は308日、和戸公民館は301日開館し、3館で合計51,885人が利用しました。

※和戸公民館については、外壁等改修工事により7日間臨時休館しました。

		30年度 A	増減 A-B	29年度 B	28年度
百間公民館	利用回数	1,508	86	1,422	1,407
	利用人数	17,105	909	16,196	17,175
川端公民館	利用回数	2,082	100	1,982	1,956
	利用人数	18,937	1,206	17,731	18,502
和戸公民館	利用回数	1,751	19	1,732	1,711
	利用人数	15,843	△178	16,021	17,517
合 計	利用回数	5,341	205	5,136	5,074
	利用人数	51,885	1,937	49,948	53,194

### ■施設の主な工事

工 事 名	金額(円)
和戸公民館外壁等改修工事	7,776,000
ブロック塀改修工事	1,090,800

## **【成 果】**

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

また、和戸公民館において、雨漏り対策等のための改修工事を実施したほか、百間・川端公民館等において、地震対策のためのブロック塀改修工事を実施し、利用環境・安全性の向上を図りました。

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
82,786,000	82,781,900	0	0	0	0	82,781,900

**[主な実施内容]**

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

	30年度 A	増減 A-B	29年度 B	28年度
開館日数(日)	290	△1	291	289
貸出者数(人)	91,990	△5,633	97,623	98,541
うち広域対象	31,344	△3,261	34,605	37,154
貸出冊数(冊・点)	331,892	△26,755	358,647	370,529
うち広域対象	109,559	△18,695	128,254	143,402

■図書等の所蔵数の状況

	30年度 A	増減 A-B	29年度 B	28年度
図書(冊)	260,234	3,122	257,112	254,999
うち一般書	198,889	2,181	196,708	195,507
うち児童書	61,345	941	60,404	59,492
視聴覚資料(点)	8,078	35	8,043	8,076
合計	268,312	3,157	265,155	263,075

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例(定期)行事のほか、デジタル郷土資料を活用した郷土史講座、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどが開催され、延べ4,701人が参加しました。

**【月例行事】**

行 事 名	開催日・回数	参加者数
童話と絵本の会	全14回	184人
紙芝居と折り紙	全11回	243人
おはなし会	全20回	156人
子ども映画会	全10回	288人
ライブラリーシアター	全12回	544人
すいようえほんの会～0.1.2.3～	全24回	464人
にちようえほんの会	全10回	129人
ベビーマッサージ&あかちゃんえほんの会	全7回	73人
キッズタッチ&えほんの会	全5回	26人
ピアノ名演奏を満喫する会 (ナクソス・ミュージック・ライブラリー利用)	全12回	192人
ブックスタート事業	全12回	217人

### 【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
子ども読書の日記念行事「としょかんこどもまつり」	4月29日(日)	300人
第14回朗読会	5月27日(日)	30人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画の会	全3回(7月～8月)	143人
夏休み子ども映画会	7月29日(日)、8月26日(日)	22人
夏休み子ども平和映画会	8月5日(日)	15人
夏休み科学あそび教室	8月3日(金)	13人
夏休みおはなし工作会	8月17日(金)	17人
夏休み読書感想文教室	8月19日(日)	30人
落語を楽しむ会(DVD)	9月17日(月・祝)	39人
図書リサイクル市	10月6日(土)・7日(日)	100人
ベートーヴェンの第九を満喫する会	12月24日(月・祝)	32人
クリスマスお楽しみ会	12月23日(日)	150人
ぬいぐるみおとまり会	1月13日(日)	30人
第25回大人も楽しめる紙芝居の集い	1月27日(日)	42人
第23回おとなのための昔話と音楽のつどい	2月24日(日)	140人
春のお楽しみ会	3月9日(土)	70人

### 【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
子ども司書講座～図書館マスターになろう！～	全12回(6月～12月)	83人
産後ママの心と体の癒しケア	6月28日(木)	8人
動物園のひみつ！調べ学習フィールドワーク	7月7日(土)・8日(日)	78人
親子で挑戦！調べ学習ワークショップ	7月21日(土)・29日(日)	12人
夜のこわ～いおはなし会	8月26日(日)	123人
ナクソスで楽しむ「映画音楽」	9月30日(日)	25人
耳で聞いて楽しむ「古事記」再演	全3回(9月～11月)	126人
再発見！日本の昔ばなし	10月14日(日)	52人
歴音 大衆音楽と演説を楽しむ会	10月17日(水)	23人
生きる力を育てるために	11月9日(金)・16日(金)	25人
ビブリオバトル中学生大会	11月18日(日)	35人
バリアフリー映画会	11月21日(水)	88人
初笑い 昭和の名人芸を聴く会	1月14日(月・祝)	35人
デジタル郷土史講座	1月19日(土)	28人
講座「チャレンジ！野菜づくり」	2月10日(日)	27人
雑誌リサイクル市(除籍雑誌無料頒布会)	3月2日(土)・3日(日)	200人
甲斐信枝さんDVD鑑賞と野草入門講座	3月10日(日)	27人
おとなも楽しめる絵本の集い	3月31日(日)	17人

## 【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供によって、利用者アンケートの総合評価においても、回答者の83%の方から「満足」「おおむね満足」の評価をいただきました。

また、進修館に返却用のブックポストを新設し利便性を向上させるとともに、新規事業として、講座「産後ママの心と体の癒しケア」や乳幼児対象の「にちようえほんの会」、町民の企画協力によるシニア向けイベントの開催等により、幅広い世代の利用者の確保を図ることができました。

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
66,177,000	66,173,792	0	0	0	0	66,173,792

## 【主な実施内容】

## ■総合運動公園の利用状況

平成30年度は320日開園し、228,070人が利用しました。

		30年度 A	増減 A-B	29年度 B	28年度
テニスコート	利用件数	3,025	△79	3,104	3,305
	利用人数	24,078	△1,372	25,450	28,649
多目的広場	利用件数	149	△2	151	164
	利用人数	10,199	1,488	8,711	9,525
野球場	利用件数	265	31	234	205
	利用人数	18,249	1,581	16,668	13,483
ソフトボール場	利用件数	186	△10	196	186
	利用人数	5,358	456	4,902	5,810
メインアリーナ	利用件数	1,317	△84	1,401	1,288
	利用人数	30,473	△177	30,650	30,773
サブアリーナ	利用件数	1,300	14	1,286	1,322
	利用人数	21,012	△474	21,486	17,649
剣道場	利用件数	616	26	590	607
	利用人数	15,897	155	15,742	17,165
柔道場	利用件数	505	32	473	469
	利用人数	8,531	1,299	7,232	7,710
弓道場	利用件数	1,169	33	1,136	1,131
	利用人数	5,048	304	4,744	5,172
会議室	利用件数	351	△21	372	379
	利用人数	5,133	1,109	4,024	4,361
研修室	利用件数	378	8	370	291
	利用人数	7,202	697	6,505	6,011
トレーニング室	利用件数	15,361	904	14,457	13,106
	利用人数	15,361	904	14,457	13,106
室内プール	利用件数	37,721	2,490	35,231	34,383
	利用人数	61,529	4,145	57,384	53,958
合計	利用件数	62,343	3,342	59,001	56,836
	利用人数	228,070	10,115	217,955	213,372

## ■教室等の自主事業実施状況

### 各教室の参加人数

教 室	30 年度 A	増減 A-B	29 年度 B
水 泳	31,260	3,475	27,785
テ ニ ス	6,249	△700	6,949
体 育	2,824	534	2,290
新 体 操	1,057	119	938
フ ッ ト サ ル	931	189	742
バスケットボール	1,235	△134	1,369
バドミントン	537	108	429
健 康 教 室	892	△142	1,034
ヨ ガ	1,547	425	1,077
卓 球	1,353	209	1,144
ラージボール卓球大会	485	△79	564
ミズノレクリエーション	188	△6	194
60才から始める健康プログラム	231	231	
60才以上の体力測定	27	27	
その他大会・教室	1,289	151	1,136
合 計	50,105	4,454	45,651

## ■施設の主な修繕

内 容	金額（円）
総合運動公園プール改修工事	1,512,000
総合運動公園加圧給水ポンプ更新工事	2,558,520
合併浄化槽修繕工事	1,436,400

## [成 果]

施設の貸出では、指定管理者であるミズノグループの水泳教室をはじめとする自主事業の取り組みの結果、室内プールでは対前年度比で4,145人増となるなど、全体では10,115人増の228,070人の方に施設を利用していただきました。

自主事業においては、水泳やテニス、ラージボール卓球大会など各種のスクール・大会を開催するほか、膝・腰痛体操教室を引き続き開催するとともに、新たに「60才から始める健康プログラム」などの高齢者の体力維持と健康増進の教室を開催するなど、スポーツ教室だけにとどまらず、健康の維持・増進に関する事業にも取り組み、子どもから高齢者までのスポーツに親しむ機会の創出と健康増進、施設の有効活用を図りました。

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,113,000	4,923,259	0	0	0	189,000	4,734,259

**[主な実施内容]**

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

平成30年度は359日開所し、57,500人が利用しました。

		30年度 A	増減 A-B	29年度 B	28年度
前原グラウンド	利用件数	336	△55	391	361
	利用人数	8,650	△2,310	10,960	8,673
東 条 原 グ ラ ウ ンド	利用件数	343	△10	353	411
	利用人数	6,320	△164	6,484	7,050
東 グ ラ ウ ンド	利用件数	361	△208	569	550
	利用人数	7,931	△7,701	15,632	17,754
宮東グラウンド	利用件数	633	25	608	603
	利用人数	17,052	△3,733	20,785	19,384
宮 東 テ ニ ス コ ー ト	利用件数	1,642	△96	1,738	1,925
	利用人数	15,516	506	15,010	17,139
アーチェリー場	利用件数	2,031	368	1,663	1,327
	利用人数	2,031	368	1,663	1,698
合 計	利用件数	5,346	24	5,322	5,177
	利用人数	57,500	△13,034	70,534	71,698

**[成 果]**

町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

また、自治会等には、地域の夏祭りや防災訓練の会場として利用され、地域コミュニティの活性化が図られました。



30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,096,000	2,081,343	0	0	0	318,700	1,762,643

### 【主な実施内容】

町民体育祭、町民スポーツ大会、綱引大会などの大会のほか、児童のスポーツに触れる機会として、「あそびと運動」を行うなど、子どもから高齢者まで多くの町民がスポーツに親しめる機会を設けました。

#### ■第46回町民体育祭

869,151円

幼児から高齢者まで全町民が参加できるスポーツの祭典として、町民の健康増進と町民相互の親睦を図ることを目的に企画し、16チーム(40地区)920人が参加しました。

期日 10月7日(日)

会場 宮代町総合運動公園 多目的広場他

#### ■町民スポーツ大会

550,000円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を9種目実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7月～8月	総合運動公園野球場	14チーム
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	17組
ソフトテニスの部	10月	総合運動公園テニスコート	26組
ソフトボールの部	10月	総合運動公園ソフトボール場他	17チーム
サッカーの部	12月	総合運動公園多目的広場	3チーム
剣道の部	10月	須賀小学校体育館	93人
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	6チーム
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	76人
弓道の部	1月	総合体育館弓道場	26人

#### ■第35回宮代町綱引大会

90,511円

町民の健康づくりと親睦・交流を図るため、綱引大会を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月2日(日)	総合体育館メインアリーナ	299人(29チーム)

■少年少女スポーツ振興事業

91,000 円

幼児から小学生までを対象に、スポーツに親しむ機会及びスポーツを始める機会を提供し、また、スポーツを通じた交流を促進するための事業を実施しました。なお、ロードレース大会は天候不順等で中止となりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月17日(日)	総合運動公園 メインアリーナ	485人

■その他の事業

480,681 円

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第21回ファミリーハイキング 10月21日(土)	山梨県 山中湖・ 忍野八海	ハイキングの楽しさやすばらしい風景を味わい、家族のふれあいを深めました。	40人
第44回年少者スキー教室 1月12日(土)～13日(日)	日光湯元 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図りました。	149人
さいかつぼーる体験 5月～3月(8月を除く)	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」の体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供しました。(年間10回開催)	延べ82人
あそびと運動(トライ) 5月～6月(春季) 10月～11月(秋季)	総合体育館 サブアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」を養う下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施しました。(各季5回)	春季 延べ76人  秋季 延べ33人
あそびと運動(チャレンジ) 4月～3月	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施しました。(14回)	延べ257人

**[成 果]**

小学生を対象としたあそびと運動教室から大人向けのさいかつぼーる体験まで、幅広い世代が参加できる事業を展開し、町民がスポーツに親しめる機会を創出することができました。

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,089,000	872,851	0	0	0	273,800	599,051

### 〔主な実施内容〕

文化財の保護、保存、管理、文化財意識の啓発普及及び指定文化財の保護団体に補助を行いました。

#### ■文化財保護委員会の運営 186,900円

文化財の指定を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を行いました。

#### ■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を平成29年度に引き続いて行いました。

#### ■文化財案内板の設置 270,000円

ふるさと納税を活用し、弁財天社（百間2丁目地内）に、その歴史や由来を記した案内板を設置しました。

#### ■指定文化財保存事業への補助 17,000円

指定文化財を保護、保存することを目的に、指定文化財所有者に対し補助を行いました。

埼玉県指定有形文化財五社神社 本殿防災設備保守点検

#### ■特別展関連講座 30,000円

特別展「明治時代のみやしろ」にあわせ、東京学芸大学教授の大石学氏を講師に迎えて、記念講演会『西郷どん』とその時代』を開催し、70人の参加がありました。

### 〔成 果〕

文化財案内板を設置することで合計39基となり、これまでの設置したものと合わせて広く地域の歴史、由来を知っていただくことができました。また、特別展記念講演会では、西郷隆盛の人物像を通じて宮代における明治維新とは何だったのかを考える機会となり、宮代町の歴史や文化財に興味や愛着を持っていただくことができ、郷土宮代に対する理解を深めていただくきっかけとすることができました。

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,873,000	10,178,523	2,300,000	1,150,000	0	0	6,728,523

### 〔主な実施内容〕

文化財保護法の規定により開発行為に係る事前の記録保存を目的とした発掘調査、整理作業を行いました。

#### ■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計323件の照会がありました。

#### ■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93・94条の規定に係る発掘届が12件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

発掘届の原因 個人住宅7件・店舗兼住宅建設1件・分譲住宅1件・消防団詰所建設1件  
看板建設1件・土留建設1件

指示事項 発掘調査1件・工事立会4件・慎重工事7件

#### ■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

1,456,470円

11件、総面積321.2㎡で試掘調査を実施しました。

調査の原因 個人住宅7件・店舗兼住宅建設1件・消防団詰所建設1件・分譲住宅1件  
個人農地改良1件

#### ■埋蔵文化財の遺物整理

発掘調査で出土した遺物の整理作業として、平成29年度道仏遺跡調査では出土遺物の洗浄や注記作業、復元作業を行いました。平成29年度姫宮神社遺跡調査では出土遺物の洗浄や注記作業、図面作成作業を行いました。昭和63年度地藏院遺跡調査では土器や石器の実測や拓本、トレース作業、復元作業などを行いました。

### 〔成 果〕

これまでに実施した発掘調査に対しての文化財調査報告書を刊行するための準備として、遺物や図面の整理作業を進めることができました。

30年度予算 (円)	30年度決算 (円)	30年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
26,947,000	26,169,239	0	0	9,400,000	5,596,600	11,172,639

### [主な実施内容]

資料館事業として、各種の展示、講座、教室等を開催しました。

#### ■郷土資料館の利用状況

平成30年度は、269日開館しました。

30年度 A	増減 A-B	29年度 B	28年度
12,678人	△1,281人	13,959人	14,953人

#### ■資料寄贈等

町民の方をはじめとした方々から、民具や古文書等4件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約295冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

#### ■展示 町の歴史、文化の紹介

258,660円

区分	内 容	期 間	入館者数
特別展	「明治時代のみやしろ」	平成30年10月～12月	2,180人
企画展	「古文書に見る人々の暮らし3 弘化3年の水害」	平成30年3月～5月	1,358人 (4・5月分のみ)
	「広報みやしろ ～発信された宮代あれこれ・昭和編～」	平成30年5月～7月	2,550人
	「収蔵品で語る宮代の民俗3 てぬぐいのある風景」	平成30年7月～10月	3,703人
	「おひなさま」	平成31年1月～3月	1,965人
	「道仏遺跡発掘出土品展」	平成31年3月～5月	922人 (3月末まで)

#### ■各種講座・体験学習教室の開催

34,382円

事業名	内 容	参加者数
御朱印帳づくり 体験講座	6月20日・24日の2回実施。一般を対象。 蛇腹式といわれる形の御朱印帳の制作体験	延べ 28人
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	小中学生を対象、8月1日～8月14日 計6回 縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、しぼり染め、和とじノートづくり	延べ 97人

移築民家と「アタラシイ」ゲキ15	8月5日、旧加藤家住宅の座敷において実施。町に伝わる昔話や伝説など、歴史的な題材を中心とした創作演劇	25人
縄文土器づくり教室	小中学生対象、7月21日、8月24日の2日間 土器づくりと土器焼き体験	18人
かやぶき民家で聞く昔話	8月4日、旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスの協力により、民話や昔話を聞く会を開催した。	20人
特別展講演会	11月10日 特別展「明治時代のみやしろ」関連講座として、『西郷どん』とその時代』のタイトルで、東京学芸大学教授である大石学氏による講演。	70人
歴史講座	3月17日 さいたま民俗文化研究所主席研究員である民俗学者・板垣時夫氏により、「埼玉東部の民俗 東部地区の祭礼行事」の演題で、埼玉東部地区の祭礼行事（春・夏）についての講演。	19人

#### ■資料整理

335,016円

1. 町内から寄贈された古文書や歴史資料の整理を行いました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理、目録化等を行いました。

#### ■普及、啓発

学校教育への対応、受入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校から7回の依頼があり、対応しました。
2. 中学生社会体験チャレンジ事業について、中学生10人を受け入れました。
3. 団体利用が22件ありました。
4. 職員派遣申請が7件あり、職員の派遣を行いました。
5. 資料の館内利用が4件ありました。
6. 教員初任者研修として、1人を受け入れました。
7. 博物館学芸員実習として4人を受け入れました。

#### ■施設の主な工事

工事名	内容	金額(円)
展示室等空調機器更新工事	常設展示室及び特別展示室兼ホール	10,508,400
旧加藤家住宅屋根修繕工事	刺し茅工法	6,696,000

#### [成 果]

特別展や企画展を開催し、町内の歴史や文化の一端を知っていただくことができました。特別展では「明治時代のみやしろ」を開催、幕末から明治へと時代が移行していくなかで、社会

や政治、文化の変化を地域の人々がどのように受け入れていったのかを紹介しました。企画展では収蔵品を中心に構成された展示や、昭和時代に発行された「広報みやしろ」について、どのような情報が発信されてきたのかを紹介する「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ・昭和編～」を開催しました。また、各種の講座や体験教室を通じて、町内の小中学生をはじめ多くの方々に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。